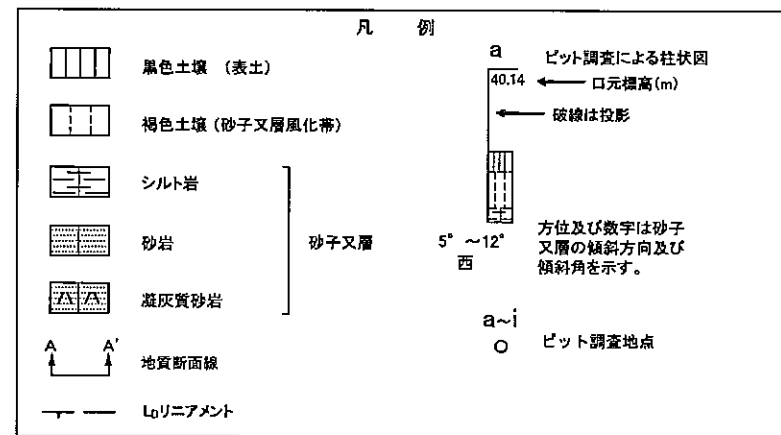
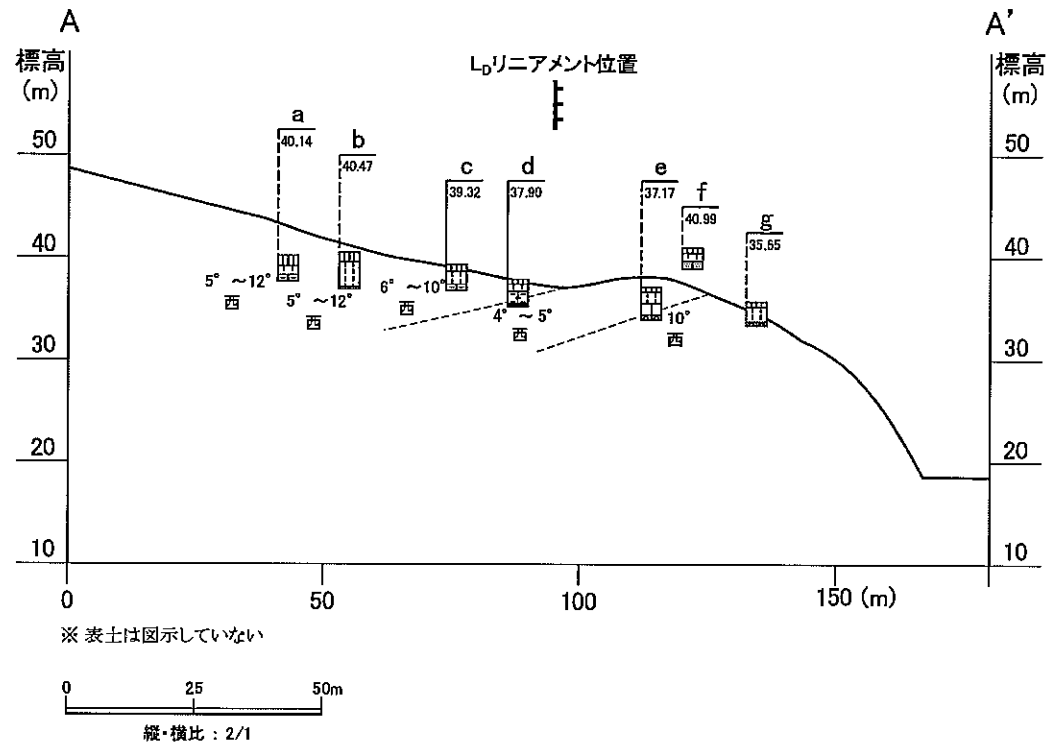
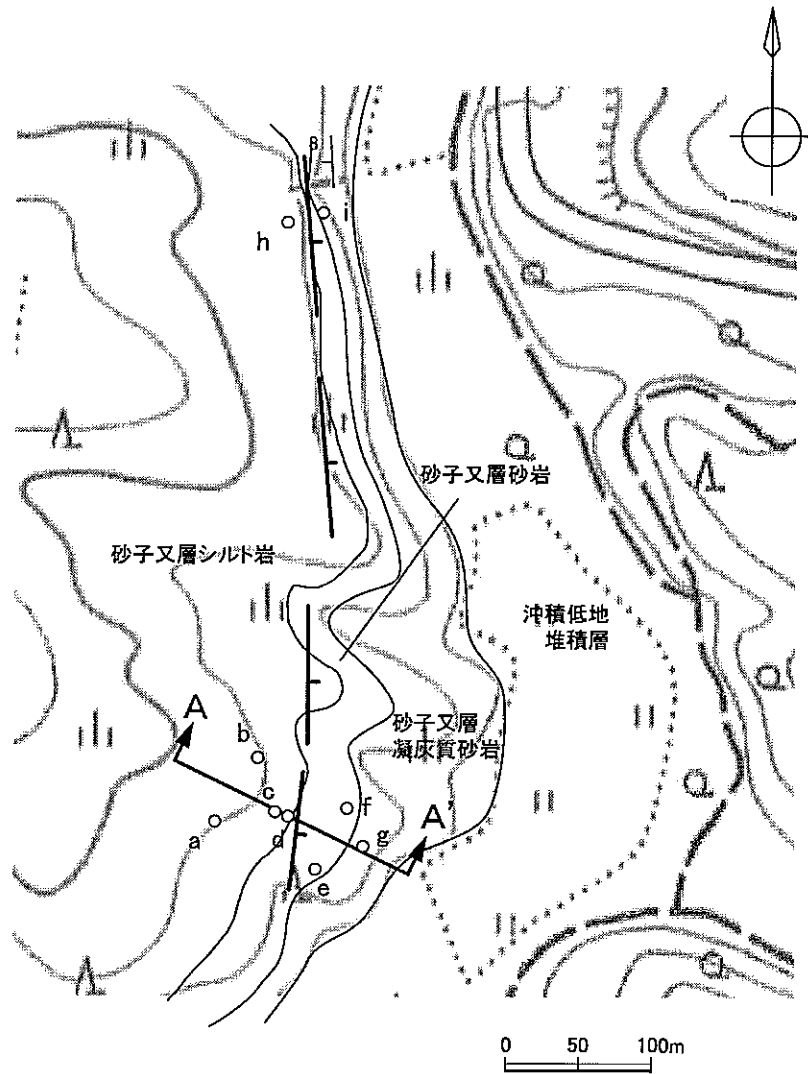


## 13. 豊栄平付近のリニアメント・変動地形

調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	-	[新編] 日本の活断層(1991):なし	
		活断層詳細デジタルマップ(2002):なし	
		50万分の1活構造図「青森」(1986):なし	
変動地形学的調査	空中写真判読	長さ約 0.6km	
地表地質調査	地表踏査	砂子又層の砂岩及びシルト岩が西傾斜の同斜構造をなして分布しており、砂子又層はL <sub>0</sub> リニアメントの位置を挟んで一様な傾斜を示す。また、L <sub>0</sub> リニアメントの両岸に分布する高位段丘堆積層(H <sub>4</sub> 面堆積物)に高度差は認められない。 L <sub>0</sub> リニアメントは、岩相境界にほぼ対応しており、岩質の差を反映した浸食地形であると判断される。	第13-1図:横浜町豊栄平周辺の地質平面図及び地質断面図 第13-2図:横浜町豊栄平東方のピット調査結果図
総合評価		○砂子又層の砂岩及びシルト岩が西傾斜の同斜構造をなして分布しており、砂子又層はL <sub>0</sub> リニアメントの位置を挟んで一様な傾斜を示す。また、L <sub>0</sub> リニアメントの両岸に分布する高位段丘堆積層(H <sub>4</sub> 面堆積物)に高度差は認められない。 ○L <sub>0</sub> リニアメントは、岩相境界にほぼ対応しており、岩質の差を反映した浸食地形であると判断される。	

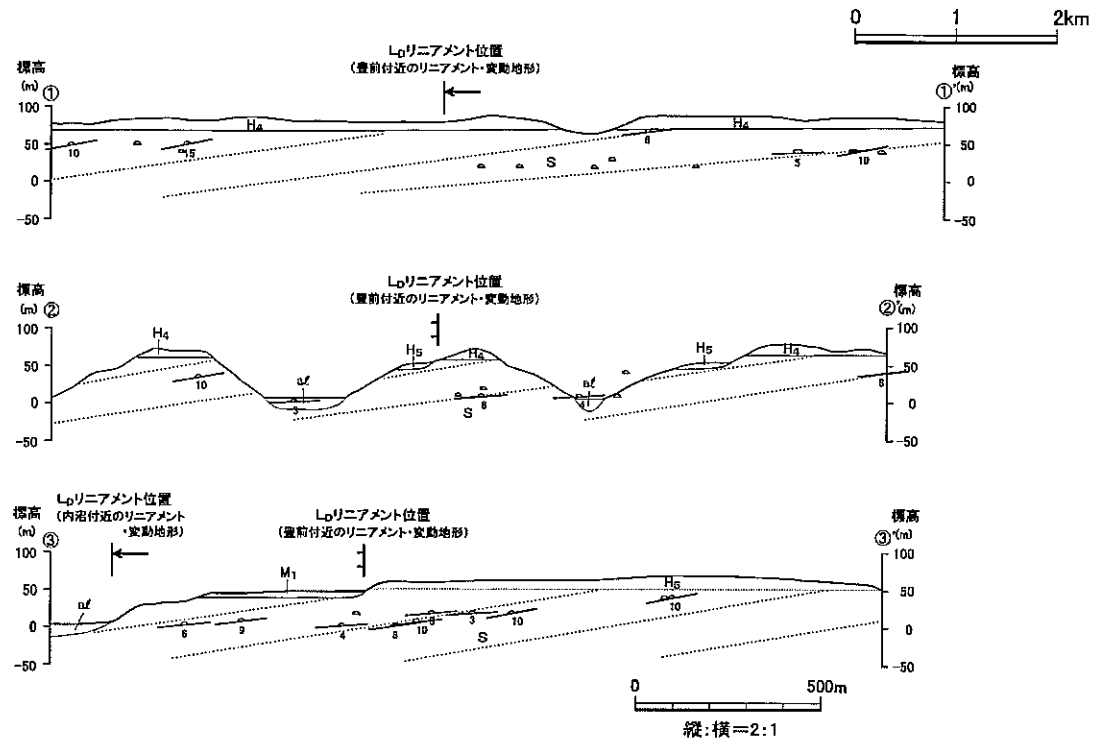
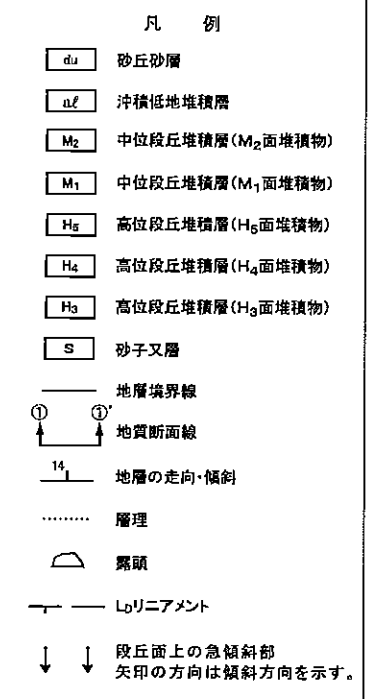
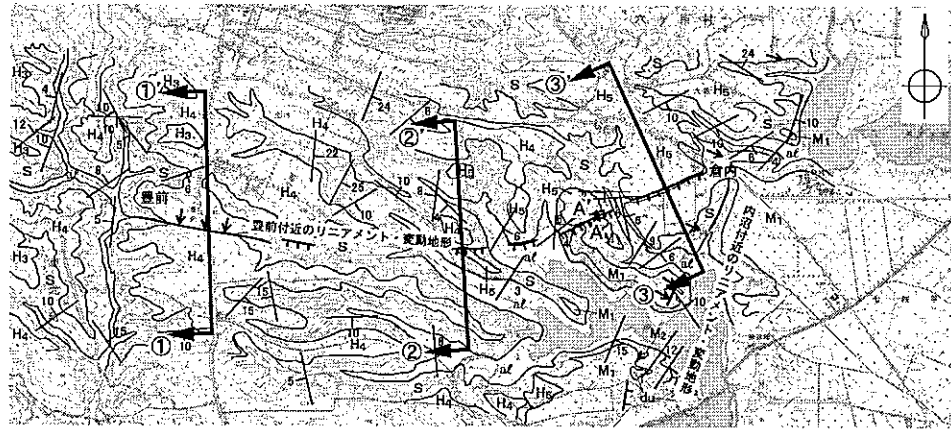




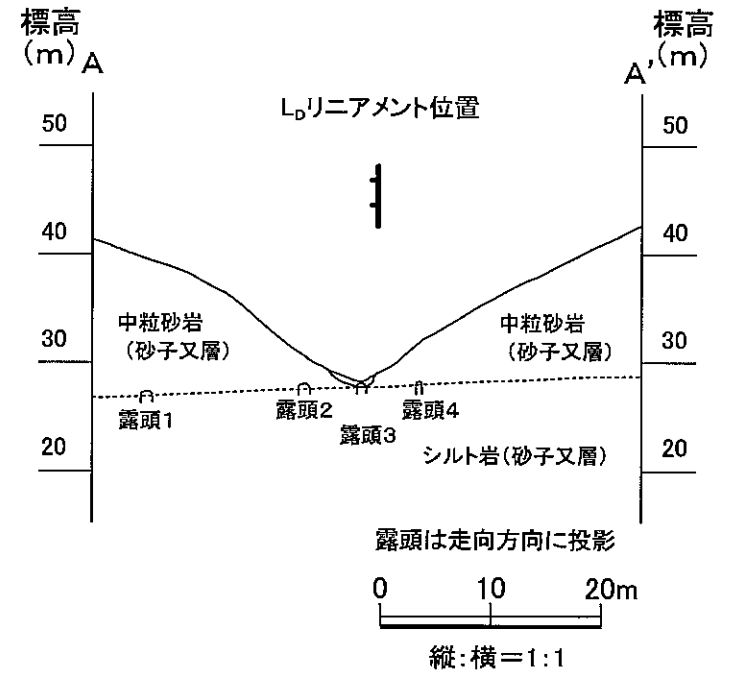
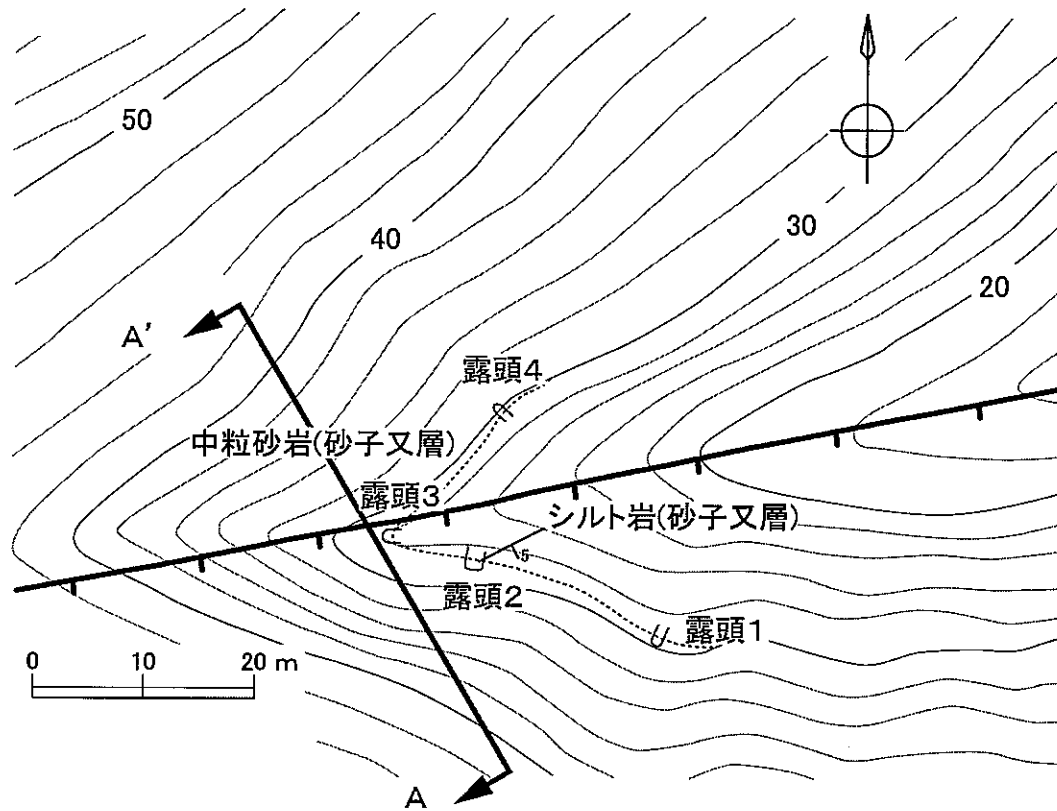
第13-2図 横浜町豊栄平東方のピット調査結果図

## 14. 豊前付近のリニアメント・変動地形

調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	-	[新編] 日本の活断層(1991):なし	
		活断層詳細デジタルマップ(2002):なし	
		50 万分の 1 活構造図「青森」(1986):なし	
変動地形学的調査	空中写真判読	長さ約 6.0km	
地表地質調査	地表踏査	<p>砂子又層の砂岩が西傾斜の同斜構造をなして分布しており、砂子又層はL<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んで一様な傾斜を示す。</p> <p>六ヶ所村倉内西方では、L<sub>0</sub>リニアメントが判読される谷を横断して、砂子又層の露頭が複数認められ、露頭にみられるシルト岩と中粒砂岩の岩相境界は、L<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んでほぼ連続的に分布しており、不連続は認められない。</p> <p>L<sub>0</sub>リニアメントは、高位面(H<sub>4</sub>面)上に認められる砂丘状の高まりあるいは段丘崖にほぼ対応しており、風成砂による地形的な高まりが撓み状の崖と類似した地形を呈しているもの、あるいは開析された段丘崖であると判断される。</p>	<p>第 14-1 図:東北町豊前周辺の地質平面図及び地質断面図</p> <p>第 14-2 図:六ヶ所村倉内西方の露頭対比図</p>
総合評価		<p>○L<sub>0</sub>リニアメントが判読される谷を横断して、砂子又層の露頭が複数認められ、露頭にみられるシルト岩と中粒砂岩の岩相境界は、L<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んでほぼ連続的に分布しており、不連続は認められない。</p> <p>○L<sub>0</sub>リニアメントは、高位面(H<sub>4</sub>面)上に認められる砂丘状の高まりあるいは段丘崖にほぼ対応しており、風成砂による地形的な高まりが撓み状の崖と類似した地形を呈しているもの、あるいは開析された段丘崖であると判断される。</p>	



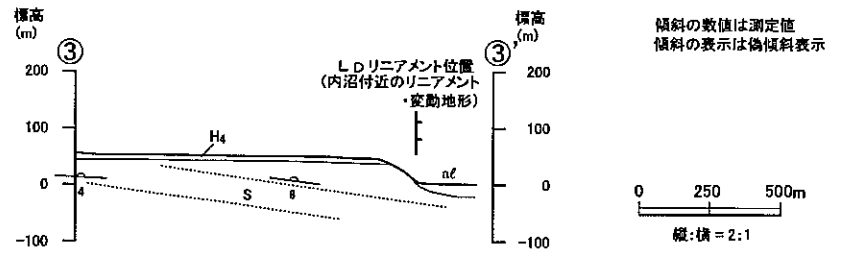
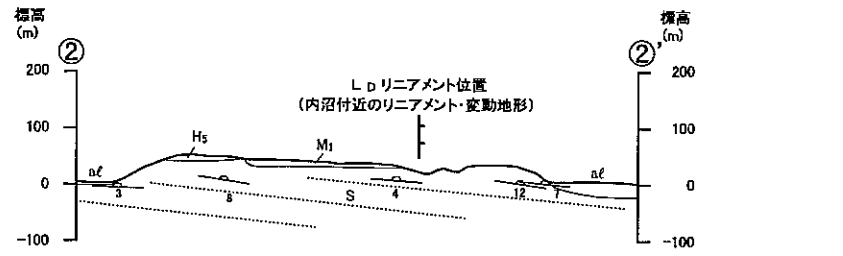
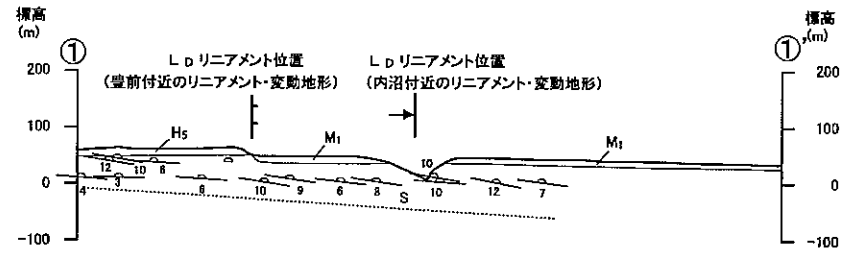
第14-1 図 東北町豊前周辺の地質平面図及び地質断面図



第14-2図 六ヶ所村倉内西方の露頭対比図

## 15. 内沼付近のリニアメント・変動地形

調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	[新編] 日本の活断層(1991):なし	
		活断層詳細デジタルマップ(2002):なし	
		50万分の1活構造図「青森」(1986):なし	
変動地形学的調査	空中写真判読	長さ約 7.3km	
地表地質調査	地表踏査	<p>砂子又層の砂岩が東傾斜の同斜構造をなして分布しており、砂子又層はL<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んで一様な傾斜を示す。</p> <p>六ヶ所村六原南方における砂子又層中の礫岩及び粗粒砂岩は、L<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んで連続的に分布し、これを覆う中位段丘堆積層(M<sub>1</sub>面堆積物)の下面に不連続は認められない。</p> <p>L<sub>0</sub>リニアメントは、中位面(M<sub>1</sub>面)上に認められる砂丘状の高まりにほぼ対応しており、風成砂による地形的な高まりが撓み状の崖と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>	<p>第 15-1 図:六ヶ所村内沼周辺の地質平面図及び地質断面図</p> <p>第 15-2 図:六ヶ所村六原南方の露頭柱状対比図</p>
総合評価		<p>○砂子又層中の礫岩及び粗粒砂岩は、L<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んで連続的に分布し、これを覆う中位段丘堆積層(M<sub>1</sub>面堆積物)の下面に不連続は認められない。</p> <p>○L<sub>0</sub>リニアメントは、中位面(M<sub>1</sub>面)上に認められる砂丘状の高まりにほぼ対応しており、風成砂による地形的な高まりが撓み状の崖と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>	



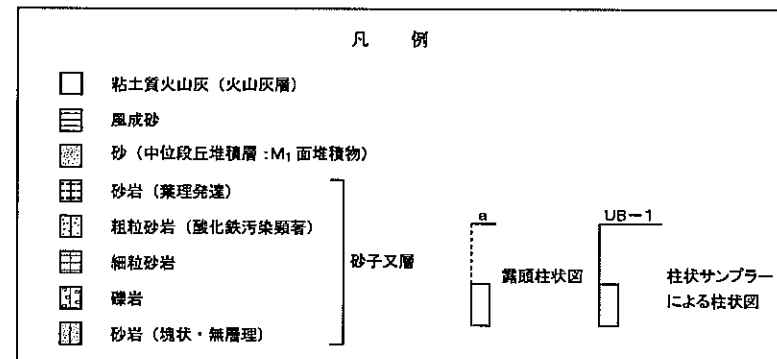
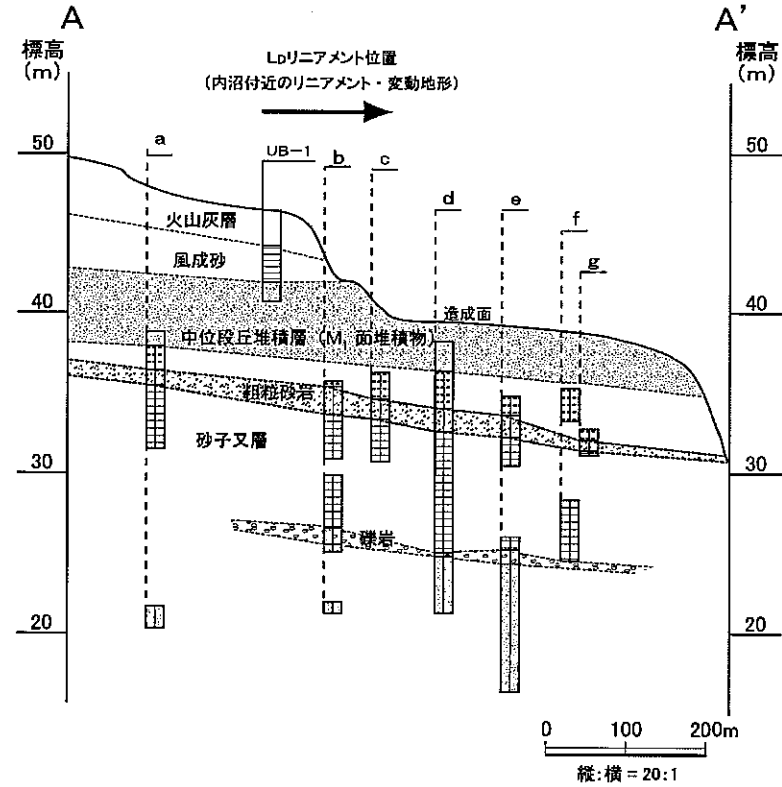
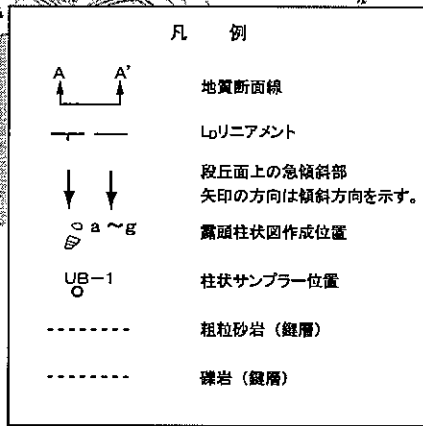
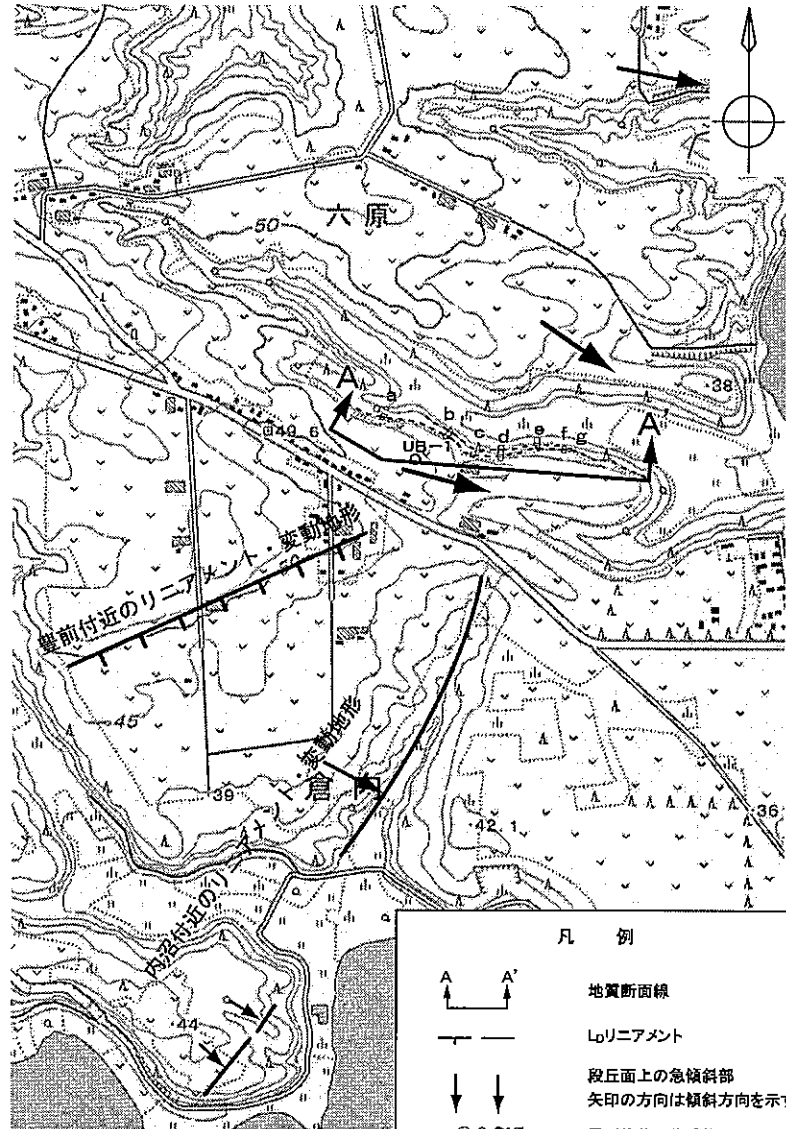
傾斜の数値は測定値  
傾斜の表示は偽傾斜表示

0 250 500m  
縦:横 = 2:1

地質凡例		
aℓ	沖積低地堆積層	① ①'
du	砂丘砂層	7
M2	中位段丘堆積層(M2面堆積物)	—
M1	中位段丘堆積層(M1面堆積物)	—
H5	高位段丘堆積層(H5面堆積物)	↓ ↓
H4	高位段丘堆積層(H4面堆積物)	↘ ↙
S	砂子又層	—
	L D リニアメント	—
	段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。	—
		—
		.....
		⤴

第15-1図 六ヶ所村内沼周辺の地質平面図及び地質断面図

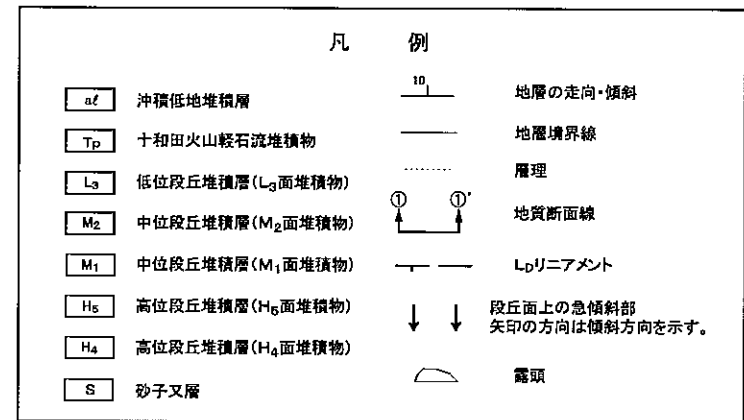
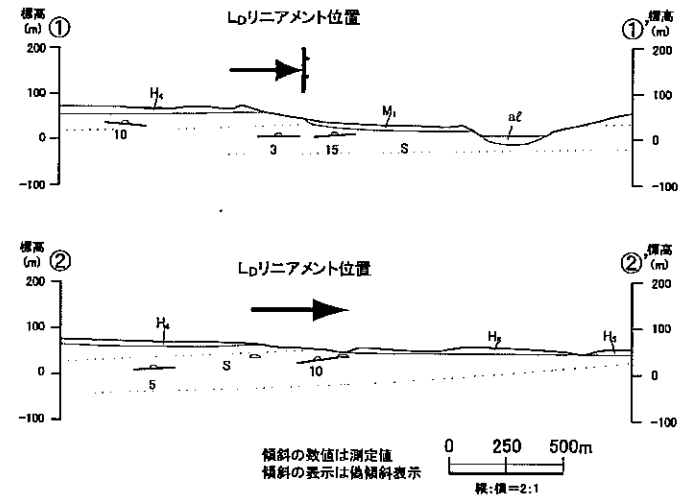
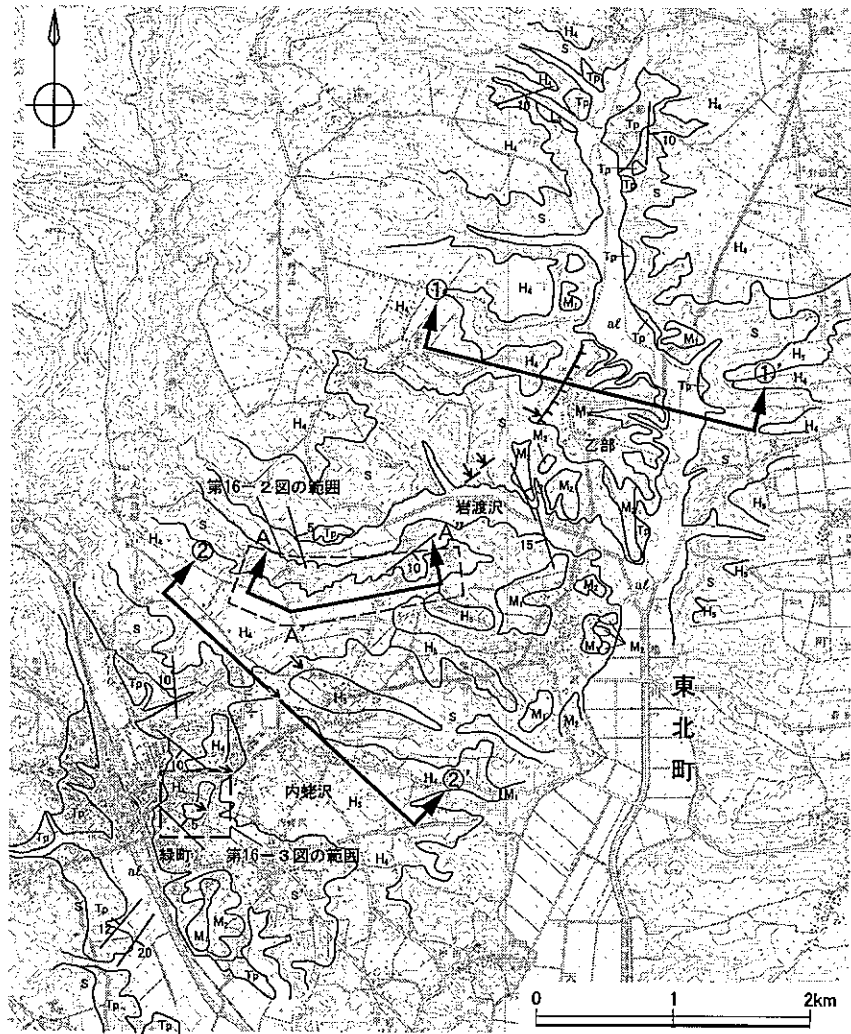




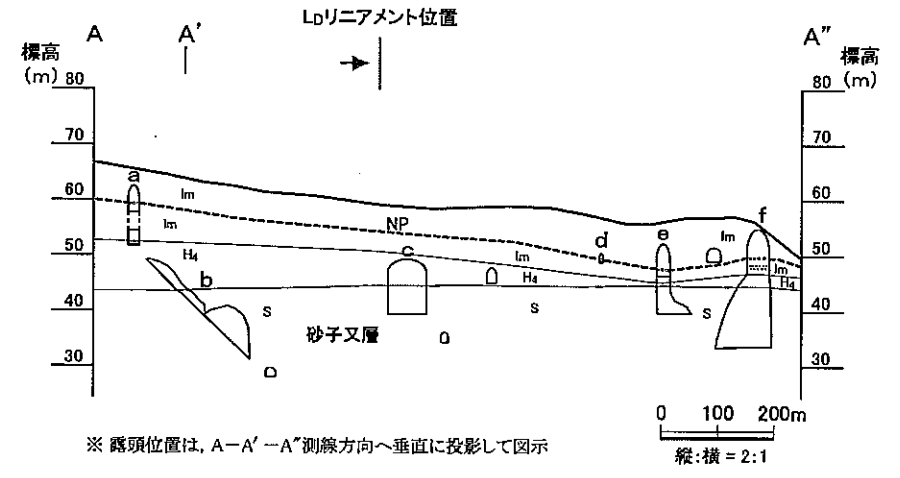
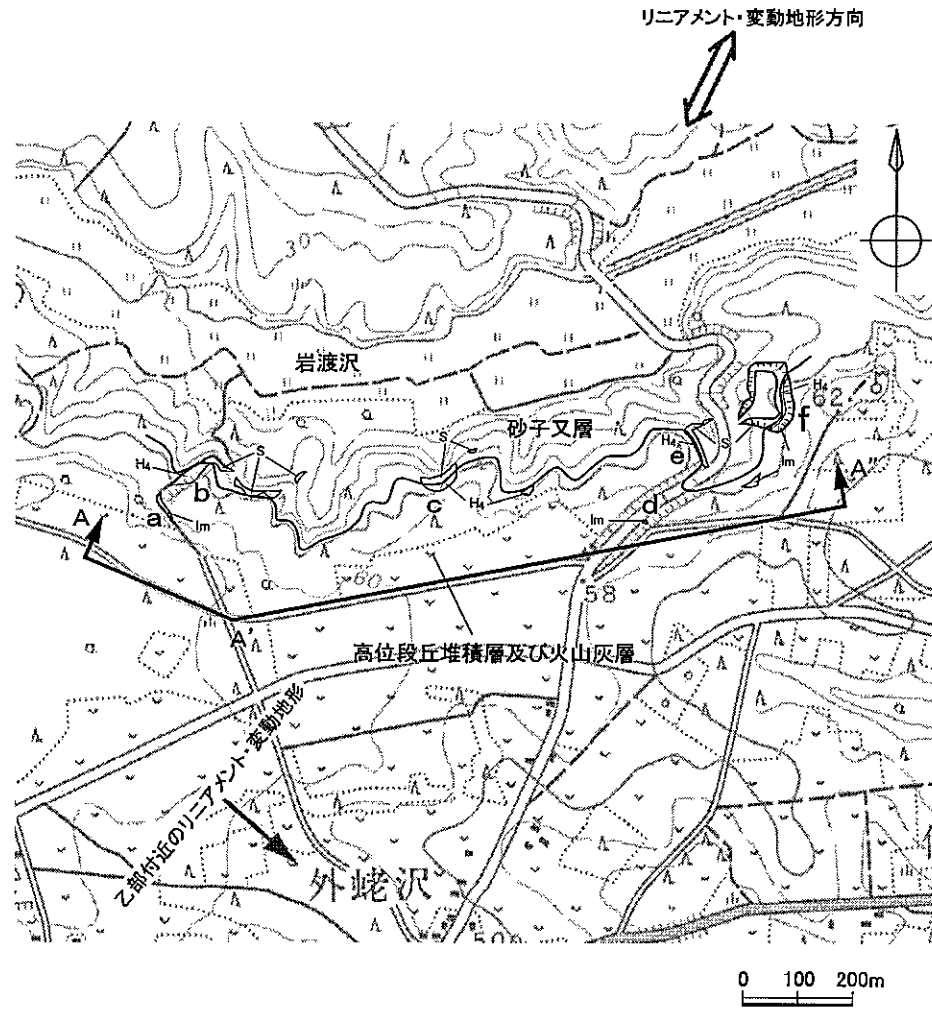
第15-2図 六ヶ所村六原南方の露頭柱状対比図

## 16. 乙部付近のリニアメント・変動地形

調査項目	調査手法	調査結果	備 考
文献調査	—	[新編] 日本の活断層(1991):なし	
		活断層詳細デジタルマップ(2002):なし	
		50 万分の 1 活構造図「青森」(1986):なし	
変動地形学的調査	空中写真判読	長さ約 4.0km	
地表地質調査	地表踏査	<p>東北町乙部南方の岩渡沢右岸では、高位段丘堆積層(H<sub>4</sub>面堆積物)下面是、L<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んでほぼ水平に分布し、不連続は認められない。</p> <p>L<sub>0</sub>リニアメントは、高位面(H<sub>4</sub>面)上に認められる砂丘状の高まりにほぼ対応しており、風成砂による地形的な高まりが撓み状の崖と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>	<p>第 16-1 図:東北町乙部周辺の地質平面図及び地質断面図</p> <p>第 16-2 図:東北町乙部南方の岩渡沢右岸の露頭柱状対比図</p> <p>第 16-3 図:東北町緑町付近の露頭スケッチ図</p>
総合評価		<p>○高位段丘堆積層(H<sub>4</sub>面堆積物)下面是、L<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んでほぼ水平に分布し、不連続は認められない。</p> <p>○L<sub>0</sub>リニアメントは、高位面(H<sub>4</sub>面)上に認められる砂丘状の高まりにほぼ対応しており、風成砂による地形的な高まりが撓み状の崖と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>	



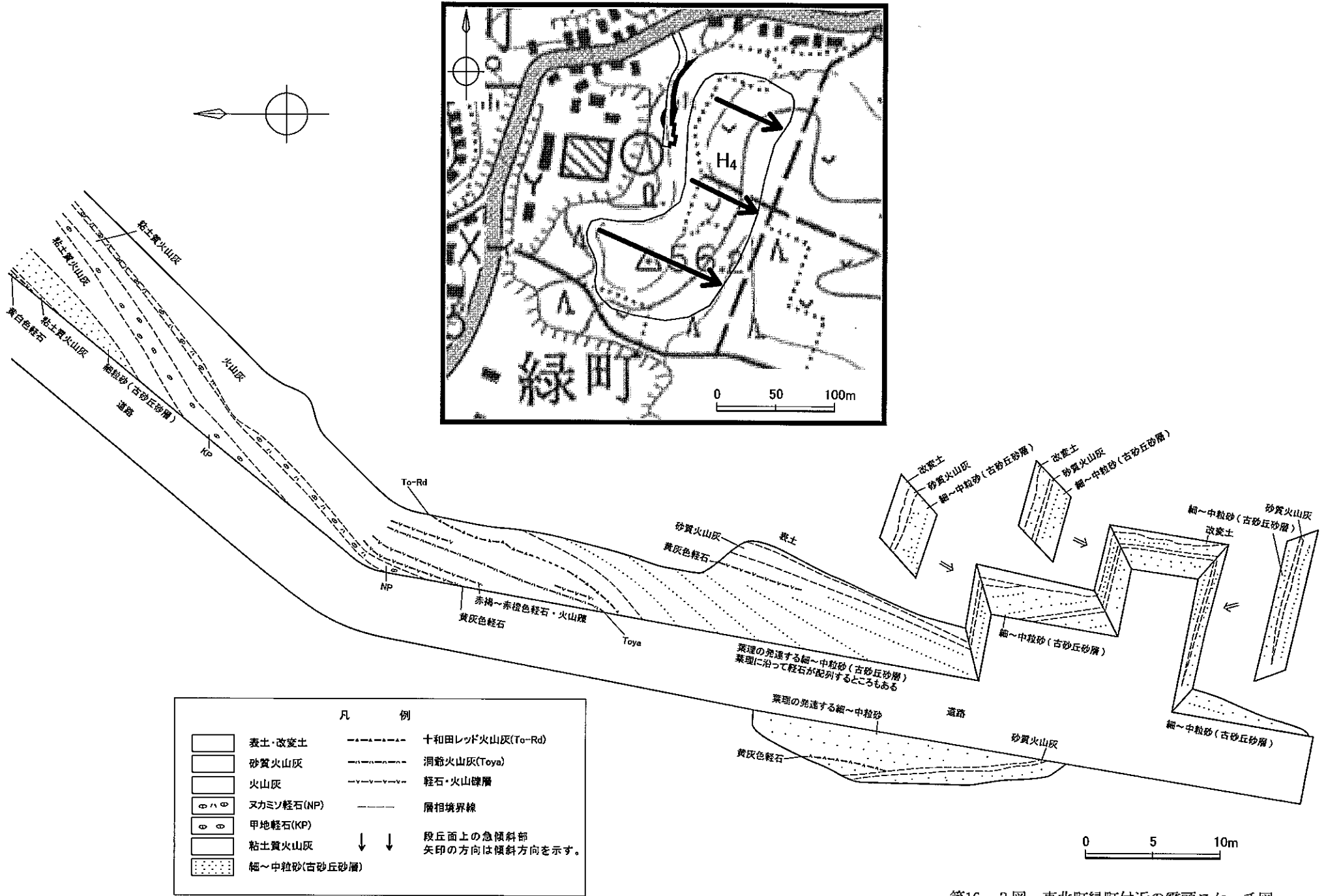
第16-1図 東北町乙部周辺の地質平面図及び地質断面図



凡	例		
lm	火山灰層	—	地層境界線
oooo	ヌカミノ軽石 (NP) (---- 対比線)	A A''	地質断面線
.....	甲地軽石 (KP)	↓ ↓	段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。
H4	細～極細粒砂 (高位段丘堆積層: H4面堆積物)	a~f	露頭柱状図作成位置
S	細～中粒砂岩 (砂子又層)	□	露頭位置

第16-2図 東北町乙部南方の岩渡沢右岸の露頭柱状対比図

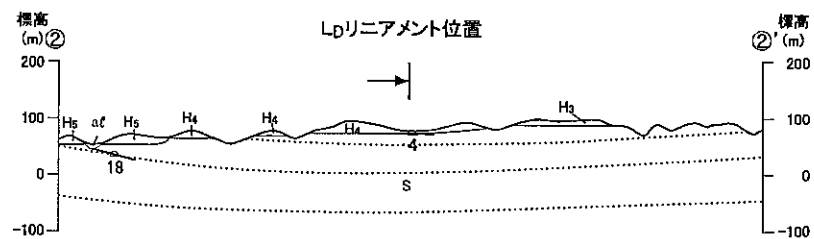
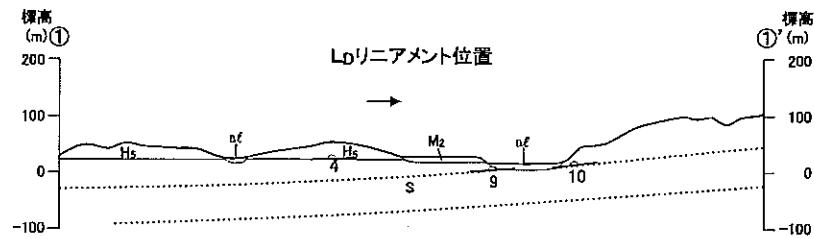
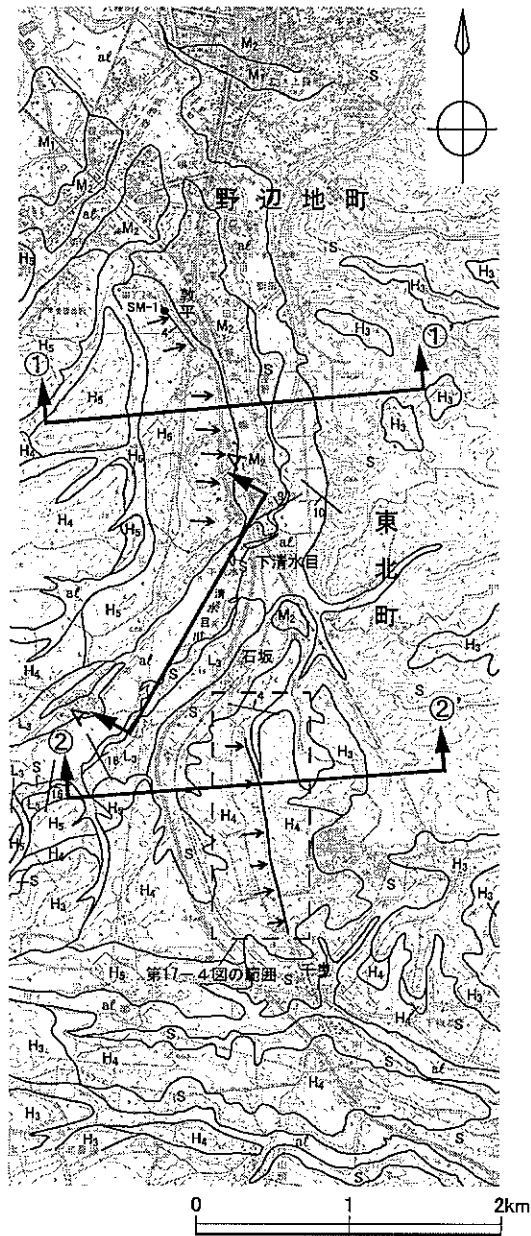
露頭位置図



第16-3図 東北町緑町付近の露頭スケッチ図

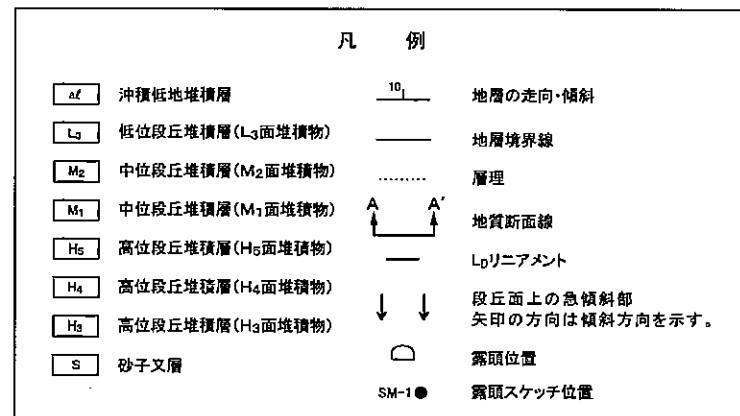
17. 清水目川付近のリニアメント・変動地形

調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	[新編] 日本の活断層(1991):なし	
		活断層詳細デジタルマップ(2002):なし	
		50 万分の 1 活構造図「青森」(1986):なし	
変動地形学的調査	空中写真判読	長さ約 4.5km	
地表地質調査	地表踏査	<p>砂子又層は、北東方向に緩く傾斜した同斜構造を示し、L<sub>D</sub>リニアメントの位置を挟んで一様な傾斜を示す。</p> <p>敦平付近では、撓み状の崖が判読された位置に、高位段丘堆積層(H<sub>5</sub>面堆積物)の露頭が認められ、高位段丘堆積層(H<sub>5</sub>面堆積物)の砂礫及びシルトがほぼ水平に堆積しており、撓曲は認められない。</p> <p>石坂～千曳に至る区間では、L<sub>D</sub>リニアメントを挟んで、高位段丘堆積層(H<sub>4</sub>面堆積物)の下面に標高差は認められない。L<sub>D</sub>リニアメントが判読される浅い谷には、旧河道に堆積したと考えられる円礫主体の砂礫層が認められる。</p>	<p>第 17-1 図: 東北町清水目川周辺の地質平面図及び地質断面図</p> <p>第 17-2 図: 東北町下清水目の清水目川沿いのルートマップ</p> <p>第 17-3 図: 野辺地町敦平付近の露頭スケッチ図 (SM-1露頭)</p> <p>第 17-4 図: 東北町石坂付近の露頭対比図</p>
総合評価		<p>○L<sub>D</sub>リニアメントを挟んで、高位段丘堆積層(H<sub>4</sub>面堆積物)の下面に標高差は認められない。</p> <p>○L<sub>D</sub>リニアメントは、段丘崖が浸食により丸みを帯び、撓み状の崖と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>	

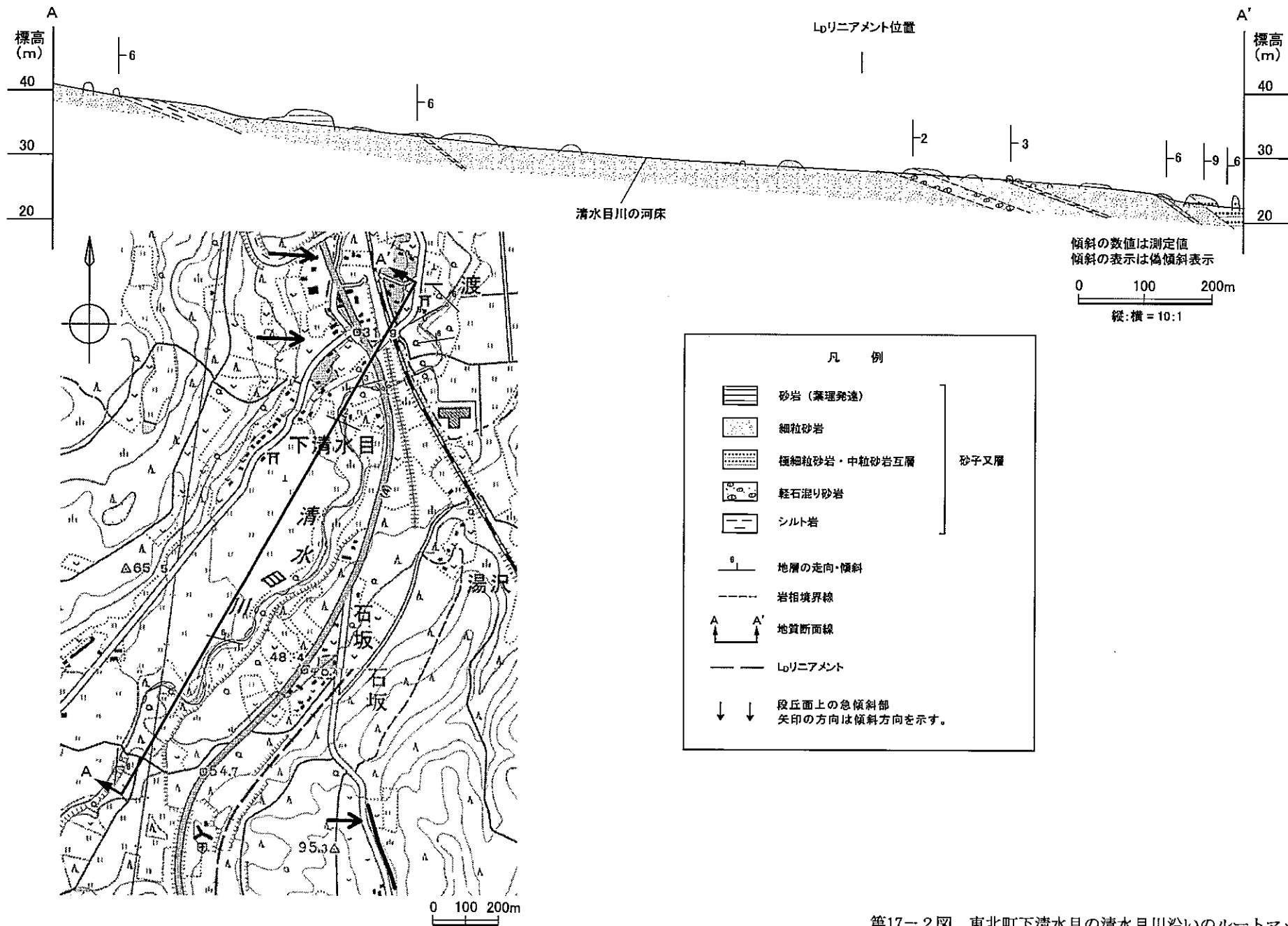


傾斜の数値は測定値  
傾斜の表示は偽傾斜表示

0 250 500m  
縦:横 = 2:1

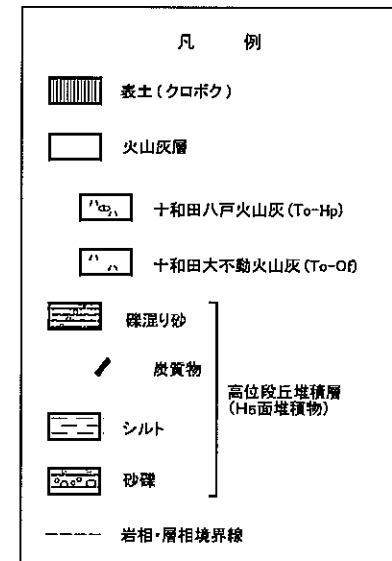
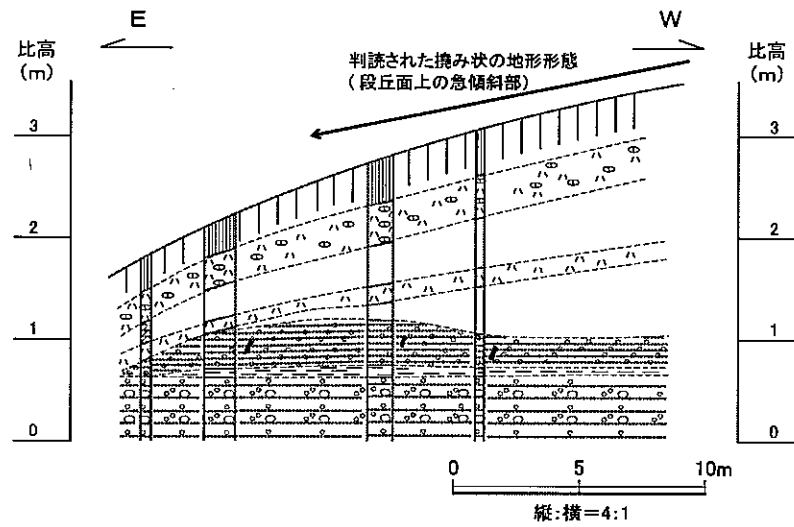


第17-1図 東北町清水目川周辺の地質平面図及び地質断面図

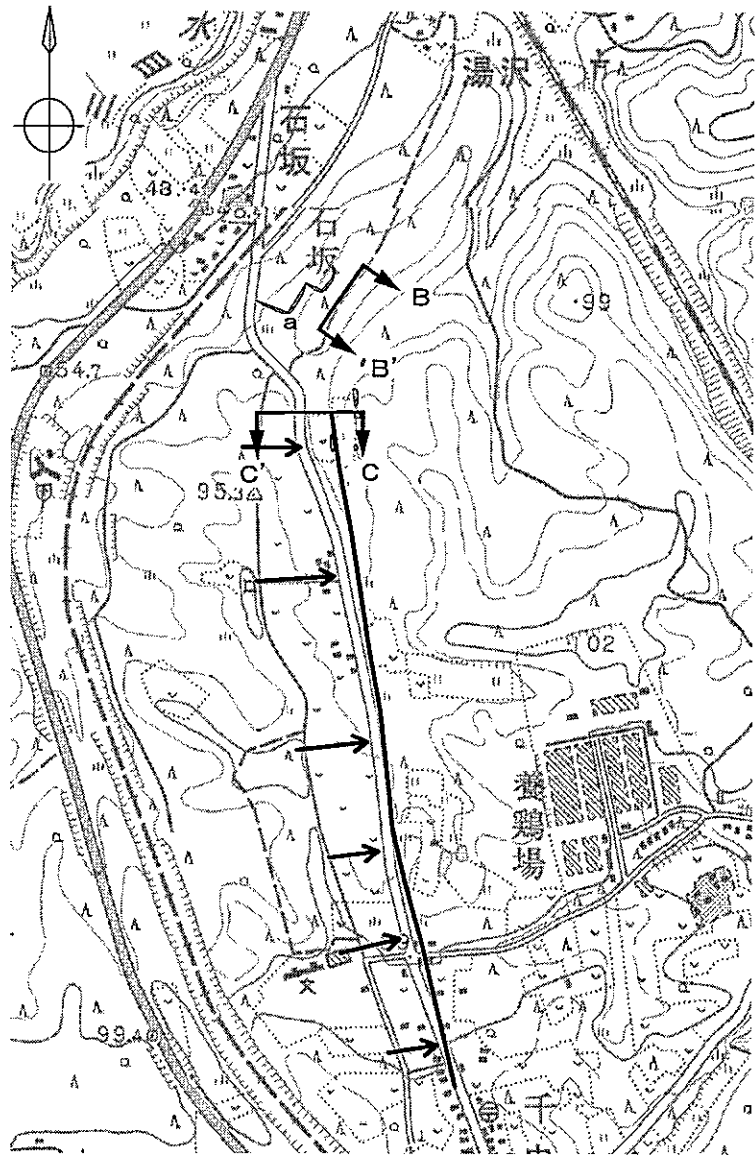


第17-2図 東北町下清水目の清水目川沿いのルートマップ

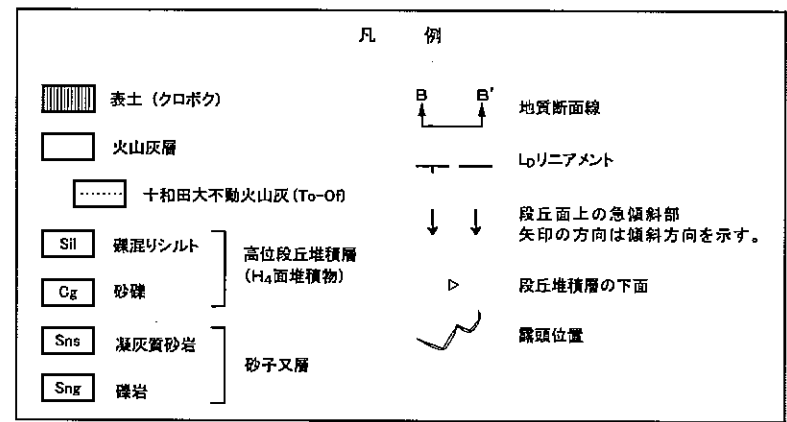
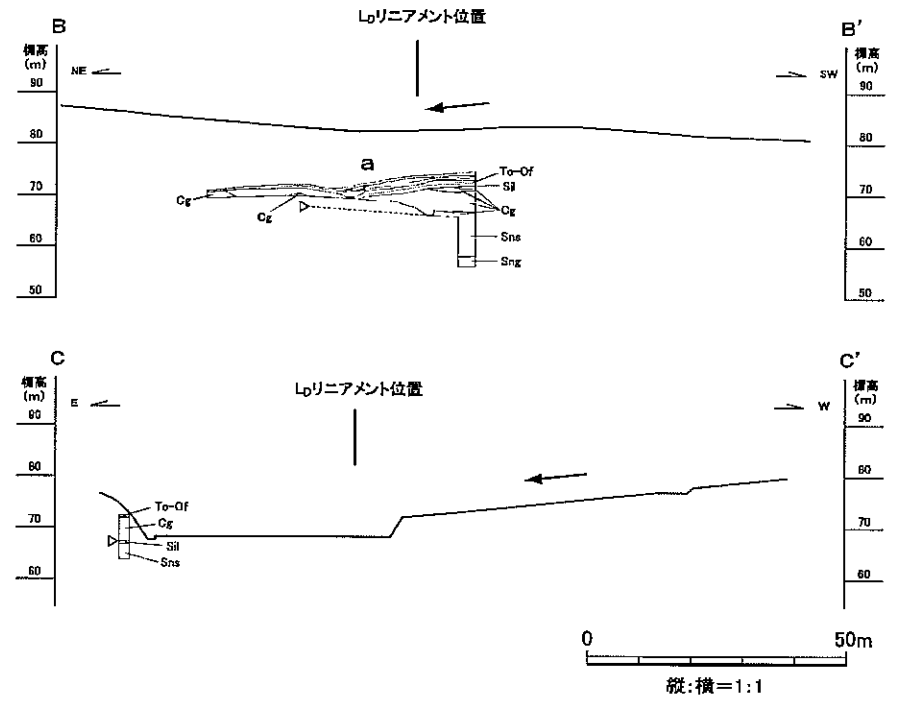




第17-3図 野辺地町敦平付近の露頭スケッチ図(SM-1露頭)



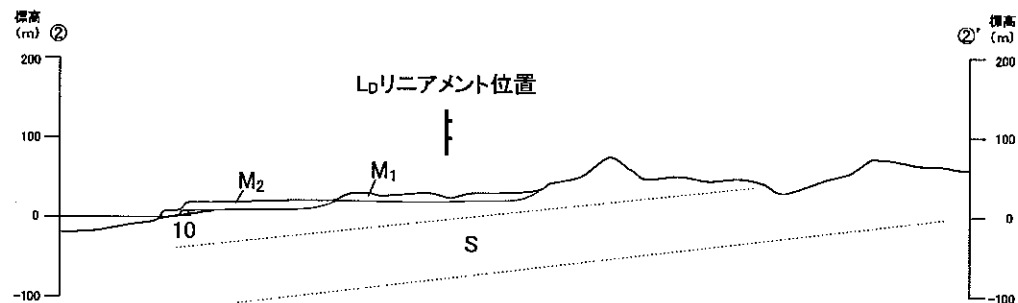
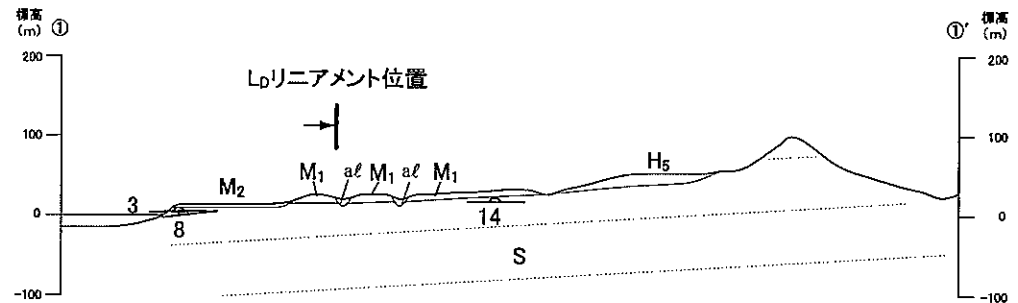
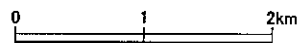
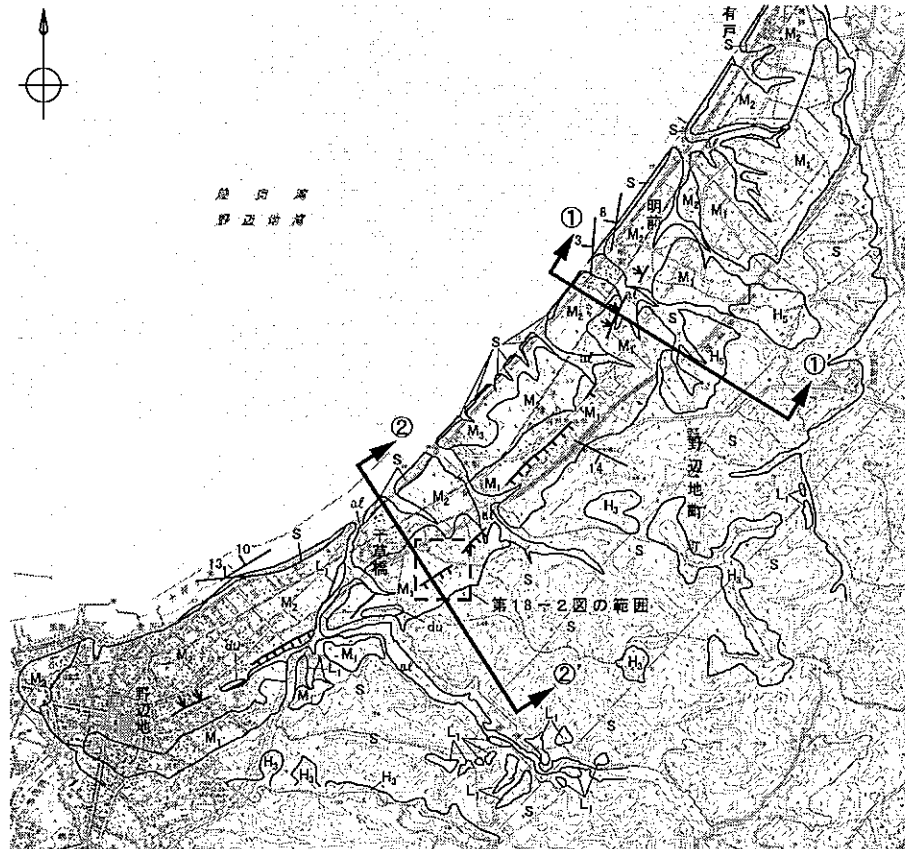
0 500m



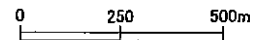
第17-4図 東北町石坂付近の露頭対比図

18. 有戸南方のリニアメント・変動地形

調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	[新編] 日本の活断層(1991):なし	
		活断層詳細デジタルマップ(2002):なし	
		50 万分の 1 活構造図「青森」(1986):なし	
変動地形学的調査	空中写真判読	長さ約 5.1km	
地表地質調査	地表踏査	<p>砂子又層の砂岩が西傾斜の同斜構造をなして分布しており、砂子又層はL<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んで一様な傾斜を示す。</p> <p>L<sub>0</sub>リニアメントは、中位面(M<sub>1</sub>面)上の砂丘状の高まりの背後に位置しており、風成砂による地形的な高まりの背後斜面が逆向き低崖と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>	第 18-1 図:野辺地町有戸南方周辺の地質平面図及び地質断面図
		<p>干草橋南東では、中位段丘堆積層(M<sub>1</sub>面堆積物)の背後に、後背湿地に堆積したと考えられるシルト層主体の軟質な地層が認められ、L<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んで、十和田レッド火山灰(約8万年前)を含む腐植質シルト層及び中位段丘堆積層(M<sub>1</sub>面堆積物)最下部の細粒砂層が連続的に分布している。</p>	<p>第 18-2 図:野辺地町干草橋南東の地質調査位置図</p> <p>第 18-3 図:野辺地町干草橋南東の地質調査結果図</p>
総合評価			<p>○L<sub>0</sub>リニアメントの位置を挟んで、十和田レッド火山灰(約8万年前)を含む腐植質シルト層及び中位段丘堆積層(M<sub>1</sub>面堆積物)最下部の細粒砂層が連続的に分布している。</p> <p>○L<sub>0</sub>リニアメントは、中位面(M<sub>1</sub>面)上の砂丘状の高まりの背後に位置しており、風成砂による地形的な高まりの背後斜面が逆向き低崖と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>



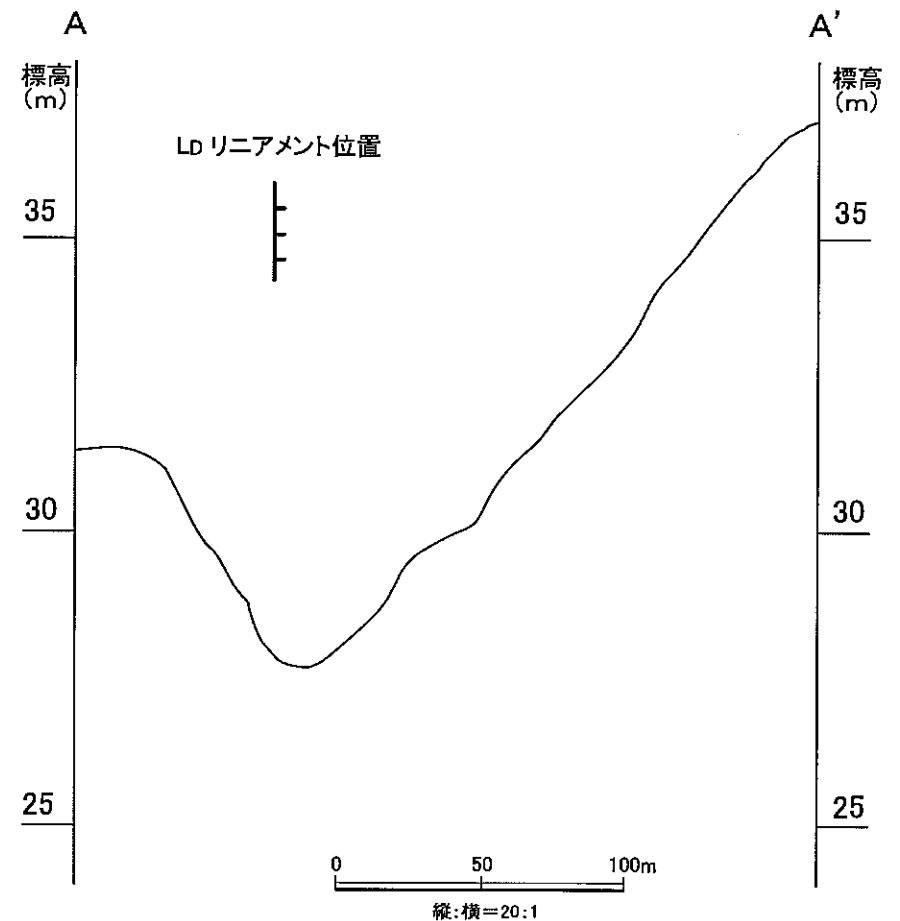
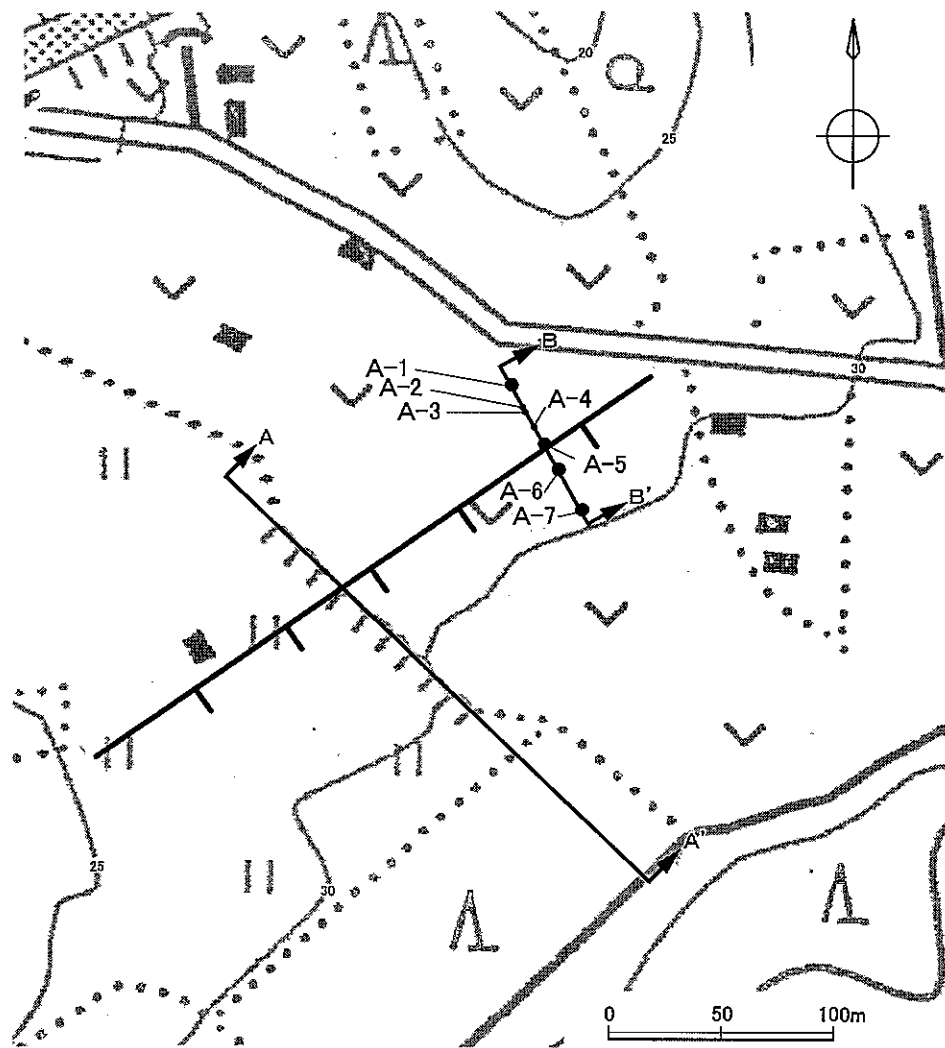
傾斜の数値は測定値  
傾斜の表示は偽傾斜表示



縦:横=2:1

凡 例			
<b>al</b>	沖積低地堆積層	10	地層の走向・傾斜
<b>du</b>	砂丘砂層	—	地層境界線
<b>L<sub>1</sub></b>	低位段丘堆積層(L <sub>1</sub> 面堆積物)	.....	層理
<b>M<sub>3</sub></b>	中位段丘堆積層(M <sub>3</sub> 面堆積物)	① ①'	地質断面線
<b>M<sub>2</sub></b>	中位段丘堆積層(M <sub>2</sub> 面堆積物)	—	L <sub>0</sub> リニアメント
<b>M<sub>1</sub></b>	中位段丘堆積層(M <sub>1</sub> 面堆積物)	↓	段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。
<b>H<sub>5</sub></b>	高位段丘堆積層(H <sub>5</sub> 面堆積物)	◡	露頭
<b>H<sub>3</sub></b>	高位段丘堆積層(H <sub>3</sub> 面堆積物)		
<b>S</b>	砂子又層		

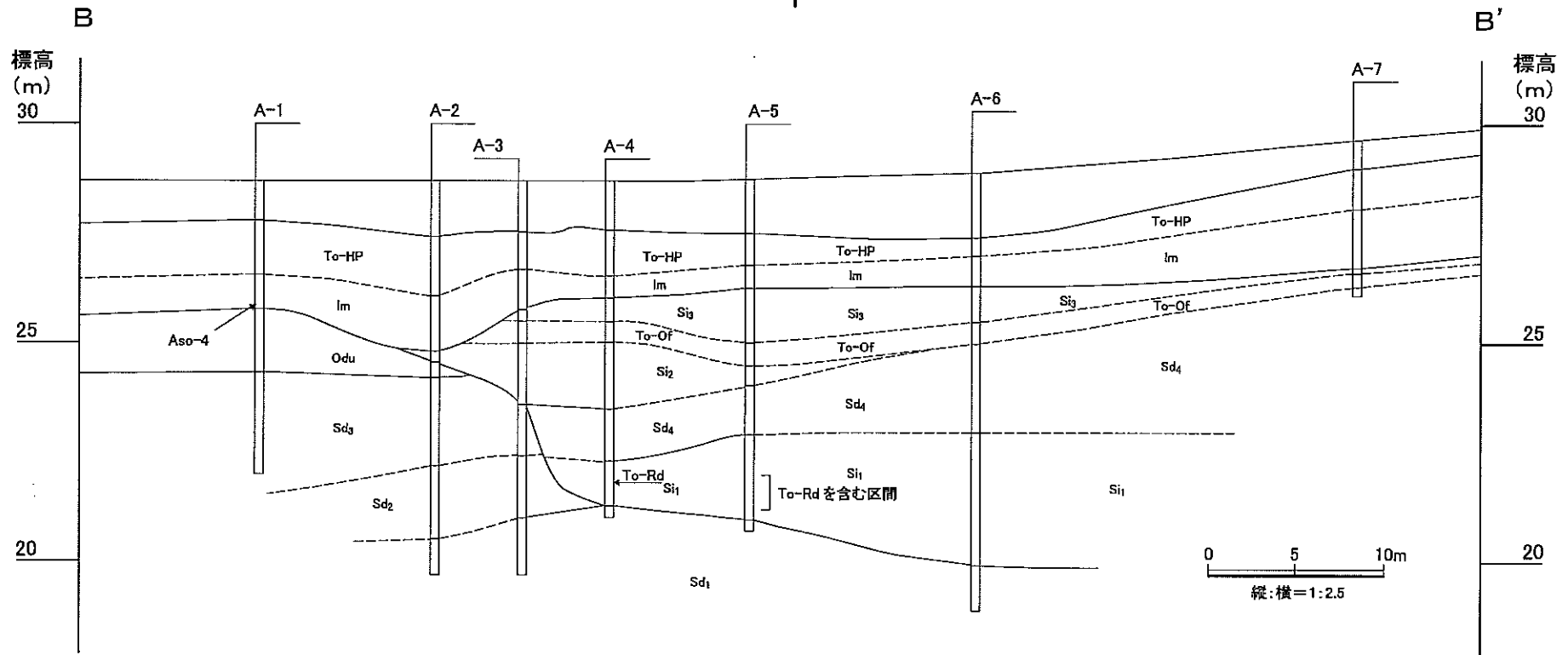
第18-1図 野辺地町有戸南方周辺の地質平面図及び地質断面図



- | 凡 例 |               |
|-----|---------------|
|     | Lp リニアメント     |
|     | 地質・地形断面線      |
|     | 柱状サンプラー位置     |
|     | ハンドオーガボーリング位置 |

第18-2図 野辺地町干草橋南東の地質調査位置図

L<sub>D</sub> リニアメント位置

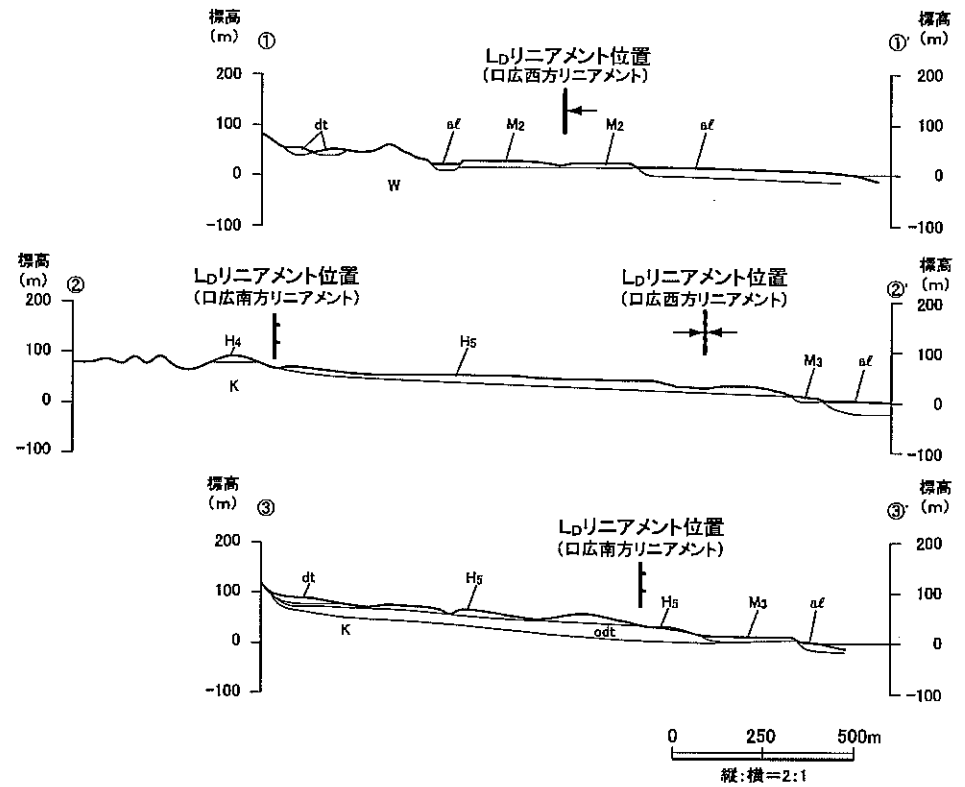
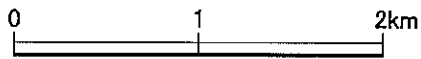
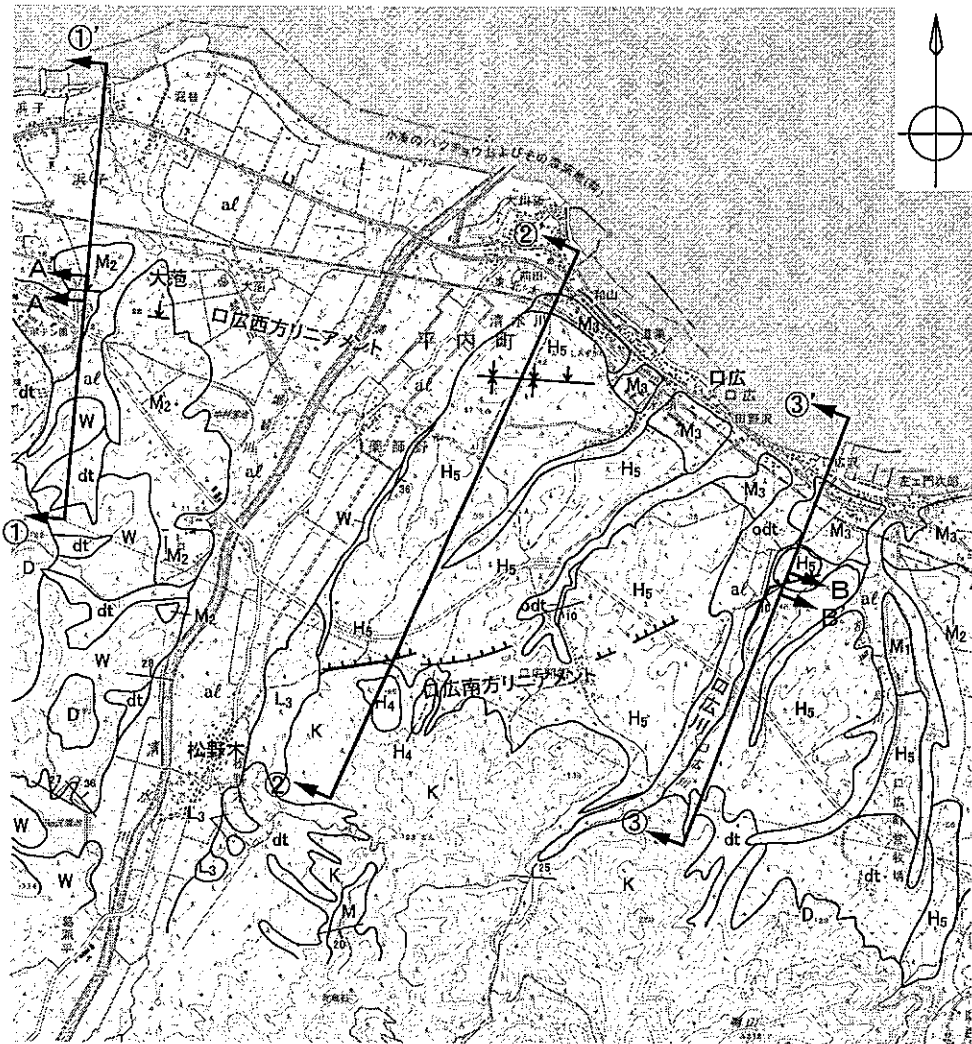


凡 例	
	耕作土
	十和田八戸火山灰 (To-HP)
	火山灰
	シルト (灰色)
	十和田大不動火山灰 (To-Of)
	シルト
	細粒砂
	腐植質シルト
	砂
	中粒砂
	礫混り粗粒砂
	細粒砂
	阿蘇4火山灰
	十和田レッド火山灰
	L <sub>D</sub> リニアメント
	地層境界線
	層相境界線
	A-1 柱状サンプラー (一部ハンドオーガボーリングを含む) 位置

第18-3図 野辺地町干草橋南東の地質調査結果図

19. 口広付近のリニアメント・変動地形

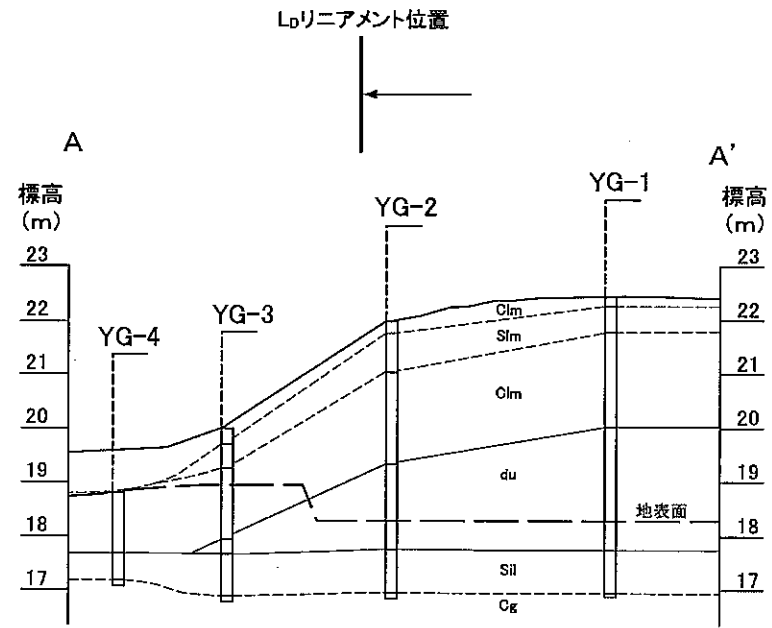
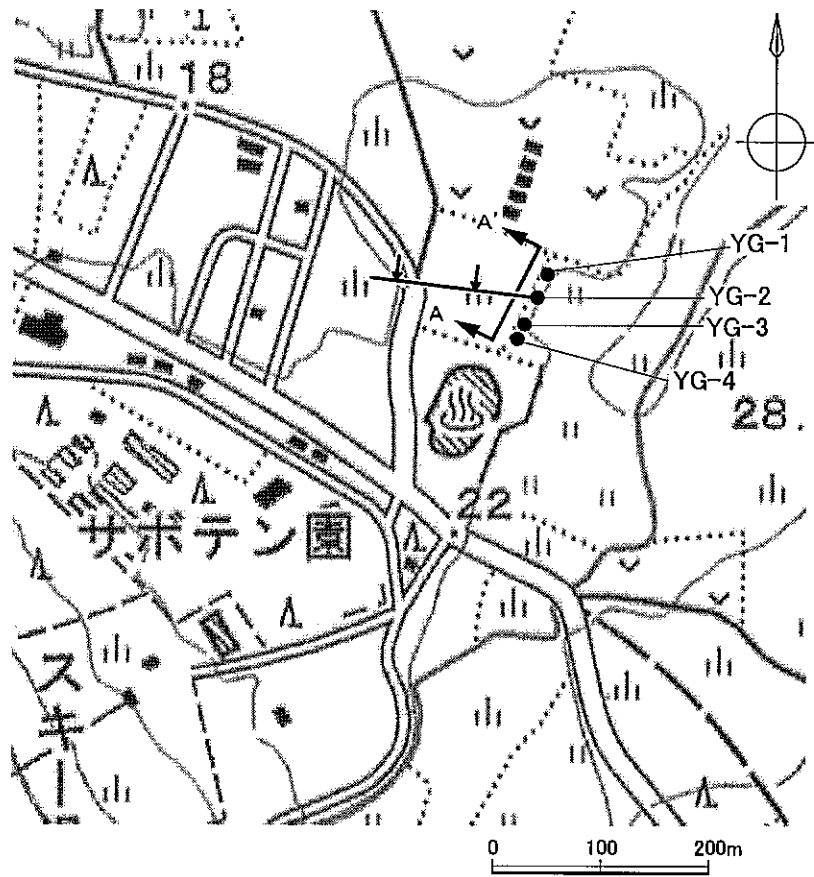
調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	【新編】日本の活断層(1991):なし	
		活断層詳細デジタルマップ(2002):なし	
		50万分の1活構造図「青森」(1986):なし	
変動地形学的調査	空中写真判読	【口広西方リニアメント】長さ約3km、【口広南方リニアメント】長さ約3km	
地表地質調査	地表踏査	<p>【口広西方リニアメント】</p> <p>大范西方:中位段丘堆積層(M<sub>2</sub>面堆積物)がL<sub>0</sub>リニアメントを横断して連続的に分布し、その上面に変位は認められない。</p>	<p>第19-1図:平内町口広周辺の地質平面図及び地質断面図</p> <p>第19-2図:平内町大范西方の柱状対比図</p>
		<p>【口広南方リニアメント】</p> <p>口広南方の口広川右岸:古期低地堆積層に属すると考えられる古期扇状地堆積物がL<sub>0</sub>リニアメントを横断して連続的に分布し、礫と凝灰質砂の層相境界及びこれを覆う火山灰層との地層境界に変位は認められない。</p>	<p>第19-3図:平内町口広南方の口広川右岸の露頭柱状対比図</p>
		<p>【共通】L<sub>0</sub>リニアメントの位置では、中位段丘堆積層(M<sub>2</sub>面堆積物)を覆う風成砂層が認められ、中位面(M<sub>2</sub>面)上で地形的な高まりを形成しており、L<sub>0</sub>リニアメントは、中位面(M<sub>2</sub>面)及び高位面(H<sub>5</sub>面)上の風成砂による地形的な高まりが撓み状の崖や溝状の凹地等と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>	
総合評価		<p>【口広西方リニアメント】</p> <p>○中位段丘堆積層(M<sub>2</sub>面堆積物)がL<sub>0</sub>リニアメントを横断して連続的に分布し、その上面に変位は認められない。</p> <p>【口広南方リニアメント】</p> <p>○古期低地堆積層に属すると考えられる古期扇状地堆積物がL<sub>0</sub>リニアメントを横断して連続的に分布し、礫と凝灰質砂の層相境界及びこれを覆う火山灰層との地層境界に変位は認められない。</p> <p>【共通】</p> <p>○L<sub>0</sub>リニアメントの位置では、中位段丘堆積層(M<sub>2</sub>面堆積物)を覆う風成砂層が認められ、中位面(M<sub>2</sub>面)上で地形的な高まりを形成しており、L<sub>0</sub>リニアメントは、中位面(M<sub>2</sub>面)及び高位面(H<sub>5</sub>面)上の風成砂による地形的な高まりが撓み状の崖や溝状の凹地等と類似した地形を呈しているものと判断される。</p>	



凡 例			
al	沖積低地堆積層	10	地層の走向・傾斜
dt	崖線堆積層	M	松倉山層
L <sub>3</sub>	低位段丘堆積層 (L <sub>3</sub> 面堆積物)	K	小坪川層
M <sub>3</sub>	中位段丘堆積層 (M <sub>3</sub> 面堆積物)	W	和田川層
M <sub>2</sub>	中位段丘堆積層 (M <sub>2</sub> 面堆積物)	D	貫入岩
M <sub>1</sub>	中位段丘堆積層 (M <sub>1</sub> 面堆積物)	odt	古期高伏地堆積層 (古期低地堆積層)
H <sub>5</sub>	高位段丘堆積層 (H <sub>5</sub> 面堆積物)	—	地層境界線
H <sub>4</sub>	高位段丘堆積層 (H <sub>4</sub> 面堆積物)	—	地質断面線
		—	L <sub>p</sub> リニアメント
		↓ ↓	段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。

第19-1図 平内町口広周辺の地質平面図及び地質断面図



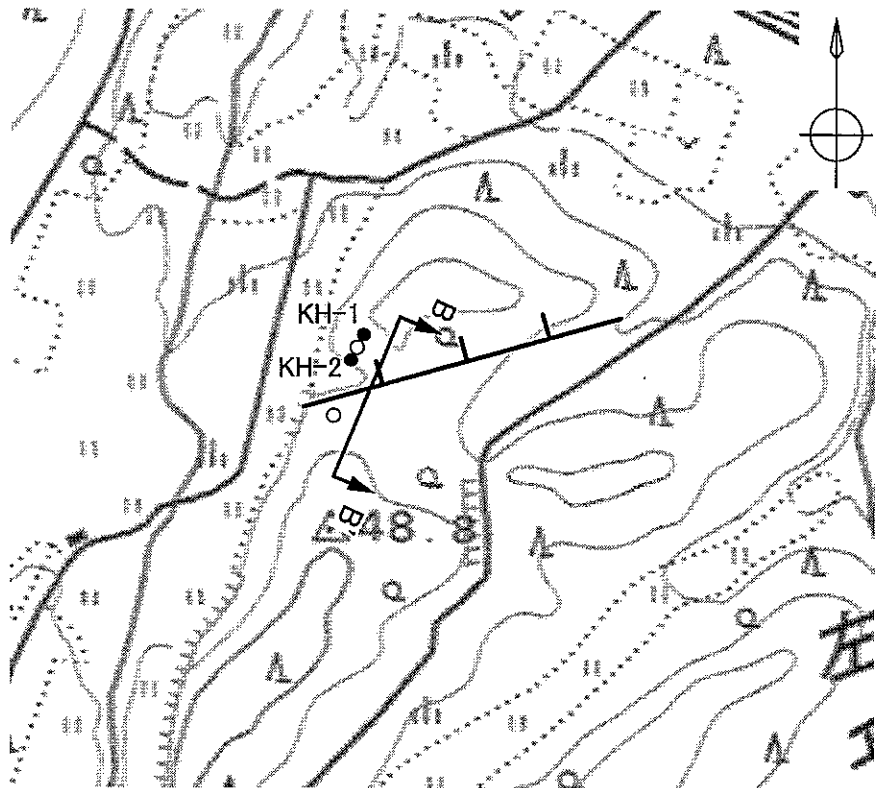


\*地表面より下方はハンドオーガボーリング結果による。  
地表面より上方は、法面観察結果による。

0 5 10m  
縦:横=5:1

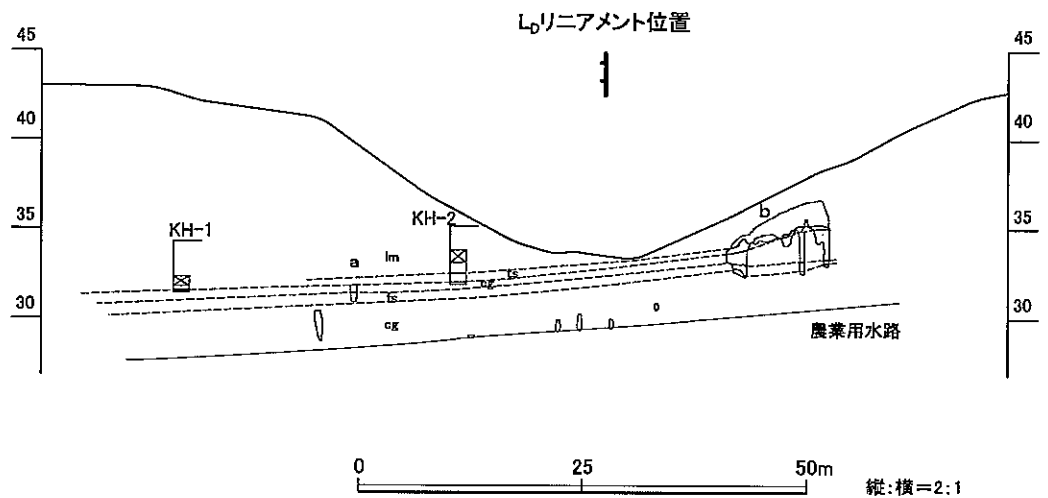
凡 例	
Slm	砂質火山灰
Clm	粘土質火山灰
du	砂質火山灰・砂
Si	シルト
Cs	砂礫
—	地層境界線
- - -	岩相境界線
A A'	地質断面線
—	L0リニアメント
↓ ↓	段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。
●	ハンドオーガボーリング位置
—	風成砂層
—	中位段丘堆積層 (M2面堆積物)
—	火山灰層

第19-2図 平内町大菴西方の柱状対比図



0 50 100m

凡 例	
	砂礫(崖錐堆積層)
	軽石混り砂質火山灰(火山灰層)
	凝灰質砂
	礫 (古期層状地堆積物)
	細粒砂
	岩相境界線
	地質断面線
	Lpリニアメント
	露頭位置
	● KH-1 ハンドオーガボーリング位置



※ 露頭位置は、B-B'断面線方向へ垂直に投影して図示

第19-3図 平内町口広南方の口広川右岸の露頭柱状対比図